

三大陸人民連盟編集部からの年末ご挨拶

DECEMBER 30, 2021

Tricontinental: Institute for Social Research

We Dance into the New Year Banging Our Hammers and Swinging Our Sickles: The Fifty-Second Newsletter (2021)

<https://thetricontinental.org/newsletterissue/we-dance-into-the-new-year-banging-our-hammers-and-swinging-our-sickles/>

2021年ニュースレター 第52号

三大陸人民連盟編集部からのご挨拶 「槌を叩き、鎌を振るい、新年を迎えよう」



photo : P.S. Jalaja (India), We Surely Can Change the World, 2021.

親愛なる友人の皆さん、

今年はほろ苦い年でした。いくつかの貴重な勝利と、いくつかの破滅的な後退を味わいました。

一番恐ろしい経験は、COVID-19 のパンデミックにさいしてのものです。

北の国々は、医療機器からワクチンに至る資材を、公平かつ民主的に配分できませんでした。それがデルタやオミクロンなど、さまざまな変種を生み、私たちはそこからギリシャ文字を学びました。

ワクチン接種率の低い国としては、ブルンジ、コンゴ民主共和国、ハイチ、南スーダン、チャド、イエメンが挙げられます。例えば**ブルンジでは、2021年12月15日時点で1200万人の人口の内、0.04%しかワクチン接種を受けていません。**この調子では70%の接種率に達するのは2111年1月になります。

貧困とワクチン接種の遅れ

それらの国は世界で最も貧しい国々です。主な産品は多国籍企業によって途方もなく低価格で買われます。それは本質的に取引ではなく強奪です。

2021年5月、WHOのテドロス事務局長は「ワクチンは世界によってアパルトヘイトされている」と述べました。それから半年以上が経ちましたが、状況はまったく変わっていません。

(訳注：アパルトヘイトとは、かつての南アフリカで、少数の白人支配者が大多数の黒人住民を奴隷扱いた政策です。それは差別と抑圧だけではなく、黒人を居住区というゲッターに押し込め、隔離するものでした)

そのような状況のもとで、南アフリカでオミクロン変異株が発生しました。11月下旬、アフリカ諸国連合のワクチン供給機構のアラキヤ共同議長はこう述べました。

オミクロンは、世界が公平で緊急かつ迅速な方法で予防接種を行なえなかった結果だ。オミクロンは、世界の高所得国による「ワクチン」の退蔵の結果だ。率直に言って、それは私には受け入れられない。

12月中旬、アラキヤはWHOのワクチン対策の特別特使に任命されました。彼女は先進国との交渉にあたっています。

彼女の交渉は個別の条件闘争では達成できません。

それは「ムンバイでの生活がブリュッセルでの生活と同じくらい重要であり、サンパウロでの生活がジュネーブでの生活と同じくらい重要であり、ハラレでの生活がワシントンDCでの生活と同じくらい重要である」ことを認めさせる、思想闘争となるでしょう。

4つのアパルトヘイト

ワクチン・アパルトヘイトは、医療アパルトヘイトという、より広範な差別の現象形態です。

今の時代には医療をふくめて4つのアパルトヘイトがあると言われています。それは食料、金融、教育のアパルトヘイトです。

例えば食料アパルトヘイトですが、国連食糧農業機関によると、アフリカの栄養不足の人々の数は2020年には2億8,160万人に達しています。これは2014年以来8,910万人増加しています。

それでも人類は進歩している

これらのアパルトヘイトにもかかわらず、人類のためのいくつかの重要な進歩が実現しています。これらの前進面は強調する必要があります。

中国の人々は前世紀までの極度の貧困を脱却しました。過去 8 年間で 1 億人近くの人々が絶対的な悲惨さから抜け出しました。

インドの農民は、農業改悪三法を拒否して闘い、1 年の苦闘の末に勝利しました。これは、長年にわたる闘いによる最も重要な勝利です。

ラテンアメリカの民衆はボリビア、チリ、ホンジュラスで左翼政権を樹立しました。

私たちは今から 1 年前、トランプがバイデンに変わってもアメリカの侵略と支配の姿勢は変わらないと考えました。

その通りバイデン政権もハイブリッド戦争を通じてキューバ革命とベネズエラ革命プロセスを打倒しようと図りました。しかしそれは失敗し、それどころか重大な後退を余儀なくされました。これは西半球の人々にとって大きな可能性を与えています。その傾向は、22 年 5 月、ブラジルでルラがボルソナロの残虐な統治を終わらせることを示唆しています。

アフガン危機の理不尽

もちろん、これは完全なリストではありません。これらは、進歩のベンチマークのほんの一部にすぎません。すべての進歩が明確であるわけではありません。

それがアフガンの例です。米国はタリバンとの戦争に敗れ、ついにアフガニスタンから撤退することを余儀なくされました。しかし残されたアフガンの人々

の苦しみは残されたままです。3900 万人近くの人々が飢餓に苦しんでいます。

米国は、タリバン政権が国連諸機関の中に正当な地位を占めることを妨害しています。さらにアフガニスタンが米国の銀行にある 95 億ドルの外貨準備にアクセスすることを阻止しています。

米軍撤退前、アフガニスタンの GDP の 43%を対外援助が占めていました。国連開発計画は、国の GDP が 21 年中に 20%減少し、22 年以降はさらに 30%減少すると計算しています。

国連報告は、2022 年末までに、1 人当たりの所得が 2012 年のレベルのほぼ半分に減少するだろうと予測しています。その結果、アフガニスタンの人口の 97%が貧困ラインを下回ると推定されています。

このまま行けば、今年の冬は大量の飢餓死の出現が、現実的な可能性を秘めています。

世界の貧困と不平等

貧困はアフガニスタンだけの問題ではありません。最近発表された「世界不平等報告書 2022」は、世界で最も裕福な 10%が全体の富の 76%を所有していること、世界の貧しい半分の人びとは私有財産の 2%しか所有していないことを示しています。

ジェンダーによる差別も深刻です。労働分配を男女で比べると、男性 65%に対して女性は 35%に過ぎません。

最後に饞の詩が掲載されていますが、訳せるほどの力はないので原文でそのまま載せます。

作品名は“**Arash-e Kamangir**” (射手アラシュ)

イランの共産党員詩人 **Siavash Kasra'i** が 1959 年に発表した Elegy の一部だそうです。

I told you life is beautiful.

Told and untold, there is a lot here.

The clear sky;

The golden sun;

The flower gardens;

The boundless plains;

The flowers peeping up through the snow;

The tender swing of fish dancing in crystal of water;

The scent of rain-swept dust on the mountainside;

The sleep of wheat fields in the spring of moonlight;

To come, to go, to run;

To love;

To lament for humankind;

And to revel arm-in-arm with the crowd's joys.